▲▽三国船員殉職追悼法要▽▲ 北陸支部

9月23日、天候に恵まれた初秋漂う中、三国港にある船員慰霊碑前において、殉職した三国底曳網乗組員の殉職追悼法要を執り行った

追悼法要は、毎年、秋彼岸の第4土曜日に開催しており、新型コロナウイルス感染症が感染拡大傾向にあった昨年までは、遺族の方々の参列を控え、人数を絞り北陸支部と三国船員会役員のみで行っていた。

今年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、遺族の方々へ参加を呼び掛ける案内を行ったが、高齢化が進んでいるため遺族参列者はおらず、三国船員会役員、浦隆幸関西地方支部長、熊谷勝明北陸支部長が参列し、底曳網船で尊い命をなくした船員の御霊に、哀悼の誠をささげ、地元「永正寺」の住職からお経が唱えられた。

われわれは尊い犠牲を教訓にして、再びこのような悲しみを繰り返すことがないように、決意を新たに航海の安全、海難事故撲滅になお一層の努力を傾注していくことを誓い、焼香、祈願した。

「海員だより」